

## 議 事 録

会 議 名	令和5年度第1回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和5年6月26日（月）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 201 研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p>&lt;学識経験者&gt; 森委員、生田委員、古相委員、徳永委員</p> <p>&lt;PTA役員&gt; 増田委員、呉羽委員、原委員、光安委員、榊委員</p> <p>&lt;校長会&gt; 遠入委員、吉瀬委員、野口委員、大洲委員</p> <p>&lt;指導主事等&gt; 恵良委員、寺澤委員、岡田委員、古井委員 古閑委員、田中委員、久永委員、西村委員、 岡部委員 舘山委員、大櫃委員</p> <p>&lt;教育委員会事務局部長級職員&gt; 中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、井上小学校教育課長 谷口中学校教育課係長、篠原小学校教育課主査</p>
議 題	<p>○ 諮問委員委嘱及び役員選出</p> <p>○ 福岡市教科用図書採択の説明 等</p>
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 福岡市教科用図書調査研究委員委嘱</p> <p>3 教育委員会挨拶</p> <p>4 委員長・副委員長選出</p> <p>5 諮問</p> <p>6 議事</p> <p>（1）教科用図書採択の概要説明</p> <p>○ 教科書（教科用図書）について</p> <p>○ 福岡市立義務教育諸学校の教科用図書採択について</p> <p>○ 令和6年度使用教科用図書採択方針について</p> <p>○ 調査研究委員会の進め方について</p> <p>&lt;休憩&gt;</p> <p>（2）小学校全教科の教科用図書採択説明</p> <p>○ 基礎資料について</p> <p>（3）調査</p> <p>7 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>◇ 教科用図書採択の概要について</p> <p>〔事務局〕 概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書の定義（文科省HPより）</li> <li>・教科書…小学校13種目</li> </ul>

- ・福岡市教科用図書調査研究委員会規則について  
調査研究委員会は研究会作成の基礎資料の妥当性を調査研究
- ・任期は1年間とし過半数の出席が必要
- ・採択方針について  
学習指導要領や福岡市の子ども達の実態、第2次福岡市教育振興基本計画、第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画の理念を踏まえ、福岡市が作成
- ・前回採択時から、1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現が示される中、新たな視点で検討する必要性
- ・採択の観点について  
教科共通の観点…内容・分量・使用上の便宜等5項目16観点  
教科ごとの観点…指導要領の目標・内容等に沿って観点を設定
- ・日程と協議内容  
5回予定…次回から小学校の審議2回、特別支援学校の審議1回、最後5回目に報告書（答申）決議

〔委員長〕 質疑応答に入る。

〔委員〕 P30の令和6年度使用教科用図書検定結果の（ ）内の数字は何を表しているのか。

〔事務局〕 各会社から発行される冊数である。

〔委員〕 学習者用デジタル教科書は来年度から出てくるのか。

〔事務局〕 文部科学省によれば英語は提供される予定である。

〔委員〕 デジタル教科書は、紙の教科書と同じなのか。

〔事務局〕 紙の教科書の全部をそのまま電磁記録したものである。

〔委員〕 デジタル教科書は調査研究の対象となるのか。

〔事務局〕 考慮の1事項とすることができるが、基本は紙の教科書が対象である。

〔委員長〕 採択方針作成のもととなった指導要領と福岡市の実態について説明してほしい。

〔事務局〕 指導要領では、主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、知識・技能、思考・判断・表現力等、学びに向かう力・人間性等という3つの資質能力を育むことが示されている。また、福岡市では「挨拶そうじ、自学とも学、チャレンジ立志」というスタンダードを掲げ、全ての子ども達が確かな学力や豊かな人権感覚を身につけることを目指している。

〔委員長〕 以前は教師が教える学習スタイルが多く見られたが、これからは子ども達が自ら学んでいくことが重視されていると理解

した。

〔委員〕福岡市の「自学・とも学」の視点からも、学びの様相がコンテンツベースからコンピテンシーベースに移行すべき。子ども達が「何を知っているか」だけではなく、知識を活用し「何ができるか」といった点が大切である。

〔事務局〕「教科書を学ぶ」ではなく「教科書で学ぶ」という発想で、子どもの学びを充実させるために教師が創意工夫をしながら授業することが求められている。

〔委員〕学校教育指導の重点でも、教師は伴走者と表現している。

〔委員長〕福岡市にふさわしい教科書はどれかという視点で調査研究する際、これからの学びの在り方を強く意識することが重要だと分かった。

◇ 基礎資料について

〔事務局〕採択方針にある「教科共通の観点」「教科ごとの観点」について、◎○△の3段階で評価している。

次回、担当主事から説明する。

調査研究委員会として、研究会の評価が妥当であるか調査や協議を行っていただく。

〔委員〕◎○△の記号の意味を教えてください。

〔事務局〕◎は「十分満足できる」、○は「満足できる」、△は「課題が残る」と規定している。

〔委員〕次回説明時には、なぜ◎○△を分かりやすく示してほしい。

〔委員〕福岡市の教科書を選ぶということになると、教科共通の観点2のウエには福岡スタンダードという文言が出てくるので重点になるということか。次回までにどの観点が重点になるのか明確にしてほしい。

〔委員〕調査研究委員会のゴールは何か。

〔事務局〕研究会の評価や所見の妥当性を調査・審議し、調査研究委員会として◎○△の評価をすることである。

次回からは、教科共通の観点と教科ごとの観点において、重点となる項目を示しながら分かりやすい説明に努める。

〔委員〕基礎資料の◎と○の違いを知りたいと思う。

〔委員〕研究会のメンバーは、各教科の指導に熱心に取り組んでいる先生が集まったと思うが、現場の多くの先生方の意見も聞きたい。

〔委員〕どの教科書が選ばれるかは、子ども達の未来につながり、福岡市の教育の変化にも関わる。

〔委員〕 評価について、最終的にテストだけで判断されているとしたら知識技能にウエイトが置かれていることになる。協働的な学び、思考判断表現等も正しく評価されることが望ましい。

〔委員〕 中学校では、先に知識や技能を教え、習熟のために鍛えていくという発想も大切である。小学校期には、基礎的な学力を定着させてほしい。

〔委員〕 例えば理科において、子ども達が実験の方法や結果を先に分かかってしまわないように教科書を見せないという声もあるようだが、それは違う。教科書は、どの子も自由にみられるものであり、さらにそこからの発想を大切にすべきだと思う。

〔委員〕 若手教員の増加により、教科書を使って指導すれば、一定の学力保障が行えるという点も大切だと思う。

〔委員〕 各委員は、それぞれの主観で意見を述べてもいいのか。

〔委員〕 重点を設定するということだが、重点項目での◎は、他の項目の◎と比べて、重みづけをするのか。

〔委員長〕 教育で大切なのは「わかる」と「できる」。子ども達が「教科書で」基礎をしっかりと学んでいけるよう、次回以降各教科の審議を行っていく。

重点項目の設定等については、教育委員会が判断し、分かりやすい説明を行ってほしい。

◇ 基礎資料の調査

## 議 事 録

会 議 名	令和5年度第2回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和5年6月30日（金）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 201 研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p>&lt;学識経験者&gt; 森委員、生田委員、古相委員、徳永委員</p> <p>&lt;PTA役員&gt; 増田委員、呉羽委員、光安委員、榊委員</p> <p>&lt;校長会&gt; 野口委員、大洲委員</p> <p>&lt;指導主事等&gt; 恵良委員、寺澤委員、小野委員、瀧澤委員 黒松委員、久永委員、西村委員、岡部委員 大櫃委員</p> <p>&lt;教育委員会事務局部長級職員&gt; 中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、井上小学校教育課長 谷口中学校教育課係長、篠原小学校教育課主査</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）審議の流れ</p> <p>（2）各教科の審議</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 社会</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 地図</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 算数</p> <p style="padding-left: 20px;">&lt;休憩&gt;</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 音楽</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 図画工作</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 家庭</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 保健</p> <p>3 連絡</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>（1）審議の流れ</p> <p>〔事務局〕 前回のご意見を受けて、福岡市らしさや各教科の本質について重点となる観点を中心説明する。</p> <p>〔事務局〕 共通の観点は、2ウ、2エ、4ウを重点とする。教科ごとの観点は、それぞれの主事から説明する。</p> <p>（2）各教科の審議</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 社会</p> <p>〔委員長〕 まずは教科共通の観点から質問意見を受け、研究会の評価や</p>

所見が妥当であるか確認したい。

〔委員〕 終末場面とは、どういう場面か。

〔事務局〕 社会科は事実を調べ、まとめる学習である。終末場面では、まとめたことをもとに、自分たちはどうするかということを考える。

〔委員〕 デジタルコンテンツについて、東京書籍はワークシートが多いということだが、そのことの何が課題となるのか。

〔事務局〕 研究会では、子ども達がどれを活用したらよいのか分からなくなる可能性があるとの意見があった。

〔委員長〕 ワークシートが多いからよくないという意見は、別の見方もできる。簡単に探究できてしまったら、探究にならないと考えることもできる。福岡市では、学びやすい教科書の方がよいということか。

〔事務局〕 まとめ方については、各社多様な方法が紹介してある。ワークシートになると、どうしても同じ表現の形になってしまう。

〔委員〕 研究会では、教える先生達にとって使いやすいという視点で調査したのか。

〔事務局〕 子どもの学びやすさという視点で調査した。

〔委員長〕 一方で、子ども達にどう使わせるかという視点も大切である。教科書を渡して自分で勉強しなさいというのが主体的な学習ではない。資料を見るとき、教師にとって使いやすいのか、子どもにとって使いやすいのか、どちらの基準で書かれているのか、視点を明確にする必要がある。

〔委員長〕 共通の観点については、研究会どおりとして、社会の観点に進む。

〔委員〕 社会科の観点は、分かりやすく書かれており、所見、評価について、特に質問や意見はない。

〔委員〕 各教科の観点は、誰が考えたのか。

〔事務局〕 福岡市の教育委員会が作成した。採択方針に記されているように指導要領をもとに作成している。

〔委員〕 読んだ感想として、とても分かりやすい。子どもか、教師かという議論もあったが、一貫して子ども目線で書かれているので問題ない。

〔委員長〕 社会の観点についても、研究会どおりとする。

#### ○ 地図

〔委員〕 帝国書院の2について、情報が必要最小限に抑えてあるとの

所見があるが、それで◎というのはどういう意味か。

〔事務局〕祭りや郷土料理など、地域に関連した情報がたくさんある中で、指導要領に記載されている内容が選別されているという意味である。

〔委員長〕必要最小限という言葉は誤解を与えかねないので、小学校で学習すべき内容が適切に配置されているなどの言葉に文言修正をした方がよい。

〔委員〕東京書籍の所見に、情報量が多いという言葉が出ているが、それが良くないという理由が分かりにくい。

〔委員長〕文言修正をすることで、研究会どおりとする。

#### ○ 算数

〔委員〕共通の観点2ウについて、◎と○の違いが分かりにくい。

〔事務局〕具体的な学習活動が記述されているか、他者の考えを読み取りながら学習できるかという点で判断している。

〔委員長〕◎と○の違いがはっきり分かるように、文言修正した方がよい。また、同じ観点で各社の文量にバラつきがあるのが気になる。

〔委員長〕文言修正をすることで、研究会どおりとして、算数の観点に進む。

〔委員長〕算数という教科で、数学的な考え方という言葉が出てくるのはどういうことか。

〔事務局〕学習指導要領に記載されている文言である。

〔委員長〕算数の観点についても、研究会どおりとする。

#### <休 憩>

#### ○ 音楽

〔委員〕共通の観点3アと3イの違いについて、評価が分かれていることについて、理由も含めて詳しく知りたい。

〔事務局〕3アは、各社の目次を見たときに、すべての楽曲を扱うことはできないという点で△としている。しかし、それが悪いということではなく、適切に扱えば学習指導要領の沿った指導ができるので○としている。

〔委員長〕過多という文言を修正した方がよい。

〔委員〕過多という文言は、見やすさや子どもが使いこなせるのかという視点で整理してほしい。

〔委員〕所見に「教師が誰でも指導できる」、「教師が捉えさせたい

技能」など教師サイドの目線で書かれた内容があり、違和感がある。そもそも教科書は、自学ができて、とも学ができて自宅学習する際にも使えなければならない。

〔委員長〕 教師か、子どもかという話は、教科書だけの話ではなく、どういう授業をするのか、どんな学びをさせたいのかという話だと思う。

〔委員〕 若年教員が増えて、教科書は教師にとって大切なツールであるので、教師の使いやすさも視点としてあってもよい。

〔委員長〕 教科書を子どもも教師も上手に使えるように、学びを主語にする方がよいのではないか。

〔委員長〕 文言修正をすることで、研究会どおりとして、音楽の観点に進む。

〔委員〕 子どもから教師からの議論は、各教科で一貫していれば、問題ない。音楽は、両方を大事したと捉えている。

〔委員〕 二次元コードについて、会社について、掲載と補充で文言が分かれている理由と、それが評価に影響したのか。

〔事務局〕 教育芸術社は、二次元コードがどの題材にも位置づいていること、内容が有効に活用できるものが多いこと、そのことを掲載していると表現した。教育出版は、参考資料としての内容が多く、補助という言葉で表現した。

〔委員長〕 補助という言葉が誤解を与える可能性があるので、文言修正をした方がよい。

〔委員〕 分量について、同じ観点は同じぐらいでそろっていた方がよい。量は同じで、内容が違う方がよい。

〔委員〕 共通の観点2ウでも、二次元コードの記述があり、この観点で書くべき内容なのか。観点到った記載をして比較ができるよう所見を見直した方がよい。

〔委員長〕 音楽の観点についても、文言修正をすることで、研究会どおりとする。

#### ○ 図工

〔委員長〕 共通の観点から質問意見をお願いしたい。他教科でも出ている話題として、分量の違いが気になるのでバランスを整えた方がよい。

〔委員〕 2ウにキャリア教育という言葉があるが、該当するページは仕事の紹介のような内容になっている。仕事から逆算させて将来どうすると考えさせるのは旧態依然としているように感じる。今は、何にでもなれるように可能性を広げるのがキャ



リア教育の流れになっていると認識している。

〔委員〕ここで言いたいのは、造形活動を通して、自分らしさを強調し、夢や可能性を広げることだと思う。

〔事務局〕キャリア教育では、自分が一番のCEOとして、可能性を広げることが大切だと認識している。生活の中に生きてこそ美術という考えがあり、それは応用美術の考えになるが、小学校高学年段階で未来につながるというテーマで学習するとき、キャリア教育につながると考えた。

〔委員〕未来につながるというテーマで学習するなら、こんな仕事に就きたいというよりは、自己実現や発想力といった可能性を感じられるような学習になると思う。写真の子ども達の笑顔から想像されるのも、豊かな未来である。わざわざキャリア教育という言葉で説明しなくても、もう少し分かりやすい言葉で表現できるのではないか。

〔委員長〕図画工作の観点3がとくに大切になるという説明だった。一部文言の修正をするということで、共通の観点、図工の観点ともに研究会どおりとする。

#### ○ 家庭

〔委員長〕共通の観点から質問意見をお願いしたい。

〔委員〕将来につなげるところが良いと思う。よくかけていると思う。

〔委員〕文量が整っている。

〔委員長〕共通の観点は、研究会どおりとして、家庭の観点に進む。

〔委員〕子どもたちは放課後の時間が少なく、家庭での実践ができない。学校の勉強で実践までつなげることが大切だと思う。

〔委員長〕グローバルな視点でも、家庭科で学んだことを実践につなぐことは大切である。頭で分かることとできることは違うので、5・6年でしっかり実践し、身につけてほしい。成長を実感するという意味では、東京書籍の成長記録はよい。

〔委員長〕成長記録は巻頭にあるのか、巻末にあるのか。

〔事務局〕巻頭と巻末の両方にあり、巻末の記録は中学校につながる内容になっている。

〔委員長〕巻頭及び巻末の部分を文言修正することで、研究会どおりとする。

#### ○ 保健

〔委員長〕共通の観点から質問意見をお願いしたい。

- 〔委員〕 4ウでは、大日本図書が◎、大修館が○となっているが、所見だけを見ると評価が逆になるのではないかと思う。大日本図書が◎の理由が分かりにくい。
- 〔事務局〕 大日本図書の二次元コードから、学習内容の定着から発展的な内容まで、多様な資料にアクセスできる点から◎とした。
- 〔委員長〕 大日本図書の所見を修正した方がよい。
- 〔委員長〕 共通の観点は、一部文言修正をするようにして、研究会どおりとして、保健の観点に進む。
- 〔委員〕 子ども達が集中して学べるような工夫が見られて分かりやすかった。
- 〔委員〕 保健の観点6は、話し合ったり活用したりするという点で大切だと思う。
- 〔委員長〕 教室の中で学習したことが、教室の中だけで留まるのではなく、家庭・社会に広がり、さらに未来につながるような所見になっていてよいと思う。
- 〔委員〕 共通の観点4ウに戻るが、文教社の二次元コードがどれもトップページにつながるというのは、何かねらいがあるのではないか。
- 〔事務局〕 意図は確認できていない。
- 〔委員長〕 保健の観点については、研究会どおりとする。  
以上で、本日の議事を終了とする。

## 議 事 録

会 議 名	令和5年度第3回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和5年7月3日（月）9:30～12:00
開催場所	福岡市発達教育センター 第1研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p>&lt;学識経験者&gt;森委員長、生田委員</p> <p>&lt;PTA役員&gt;増田委員、呉羽委員、原委員、光安委員、榊委員</p> <p>&lt;校長会&gt;遠入委員、野口委員</p> <p>&lt;指導主事等&gt;恵良委員、寺澤委員、岡田委員、瀧澤委員 古井委員、古閑委員、田中委員、久永委員 岡部委員、舘山委員、大櫃委員</p> <p>&lt;教育委員会事務局部長級職員&gt;中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、井上小学校教育課長 松本発達教育センター所長、谷口中学校教育課係長 衛藤中学校教育課主任指導主事 下田発達教育センター主任指導主事</p>
議 題	○ 特別支援学級・特別支援学校で使用する一般図書についての審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）一般図書の採択について</p> <p>（2）基礎資料の説明</p> <p>（3）一般図書の調査</p> <p>（4）審議</p> <p>（5）連絡</p> <p>3 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p style="font-size: 2em;">非公開</p>

非公開

非公開

非公開

非公開

以上で、本日の議事を終了とする。

議 事 録

会議名	令和5年度第4回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和5年7月7日（金）9:30～12:00
開催場所	福岡市教育センター 201研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p>&lt;学識経験者&gt; 森委員、生田委員、徳永委員</p> <p>&lt;PTA役員&gt; 増田委員、呉羽委員、原委員、光安委員、榊委員</p> <p>&lt;校長会&gt; 遠入委員、吉瀬委員、野口委員、大洲委員</p> <p>&lt;指導主事等&gt; 恵良係長、寺澤委員、小野委員、岡田委員、瀧澤委員 古井委員、古閑委員、田中委員、久永委員、西村委員 岡部委員、舘山委員、大櫃委員</p> <p>&lt;教育委員会事務局部長級職員&gt;中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、井上小学校教育課長 谷口中学校教育課係長 篠原小学校教育課主査</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）審議の流れ</p> <p>（2）各教科の審議</p> <p>○ 国語</p> <p>○ 書写</p> <p>○ 理科</p> <p>&lt;休憩&gt;</p> <p>○ 生活</p> <p>○ 外国語</p> <p>○ 道徳</p> <p>3 連絡</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>（1）審議の流れ</p> <p>〔事務局〕 前回同様に、福岡市らしさや各教科の本質について重点となる観点を中心に説明する。</p> <p>（2）各教科の審議</p> <p>○ 国語</p> <p>〔委員長〕 国語の教科書の基礎資料について、審議の都合上、各教科共通の観点と国語の観点、別々にご意見を頂戴したい。</p> <p>〔委員〕 観点2ウと2エと4ウについて、それぞれコメントがしっかりと書き込まれており、対比も分かりやすく、特に疑問はない。</p> <p>〔委員〕 共通の観点到大きく異論はないが、2ウについて、3社ともに良い点があると思うが、1社だけが◎というところについて、少し違いが分からない。</p> <p>〔委員長〕 3社、どれも主体的・対話的で深い学びができるようによく工夫されているが、主体的・対話的で深い学びと、見通しを</p>



	<p>もつということの関係性がよく分からなかった。</p> <p>[事務局] 研究会の中でも、各社とも主体的・対話的で深い学びの具現化について工夫があると意見が出ていた。各社とも学習の過程において、見通しと振り返りがしっかりと位置づいていつことから、各社を○としている。</p> <p>特に1社を◎としたのは、学びの原動力となるような問いが教科書に明記してあるから。</p> <p>[委員長] 共通の観点でデジタルコンテンツの話が出てきているが、実際に見たことないので、通常二次元コードからどのようなコンテンツに展開するのか、動画を見るのが子ども達にとって良いことなのか説明してもらいたい。</p> <p>[事務局] 動画を活用することで子ども達の学びに広がりや深まりが生まれると考えている。研究会では、動画を見せることについては、学習の過程や実態に合わせてより適切なものを選んでいくのが大事ではないかと話題になった。</p> <p>[委員長] 1回実物を見せてもらいたい。動画には、どのようなものがあるのか関心がある。共通の観点については、研究会どおりとして、国語の観点に進む。</p> <p>[委員] 3社で、こんなに違いが出るのか。</p> <p>[事務局] ○と◎については、各観点に対して満足できる内容になっているという評価である。その中で、◎がついてところは、より思考を深めたり、見方・考え方を働かせたりすることができるということである。</p> <p>[委員] 所見の文量の多いところが、◎になっているという感覚でよいのか。</p> <p>[事務局] 一概にそうではないが、観点に対して十分満足していることを説明しようとする、そのような傾向もあるかもしれない。</p> <p>[委員長] 所見の文を見るとき判断基準は、量なのか、質なのか、両方なのかということによいのか。</p> <p>[委員] 教育出版が3行で書かれていることが、光村図書では8行で書かれている。見る方は相対的に見てしまう。</p> <p>[委員長] 所見の文章が多かったり少なかったりする。特に4の観点は東京書籍と教育出版が少ないのに対して、光村図書が多いというところが目立つので、所見の文量をなるべく揃えてもらいたい。</p> <p>[委員] これはこれでいいと思っている。◎を納得するとき、所見を見て、付加されている部分がある方が、学習指導要領の深い学びにつながると思っている。</p> <p>[事務局] ねらっている子どもの姿、期待できる姿を具現化できるような文章表記にしていきたい。</p> <p>[委員長] 文言修正をすることで、研究会どおりとする。</p>
--	--

○書写

- [委員] 特に疑問はない。動画コンテンツがあることで、一人で学習できるというのがあるがありがたい。
- [委員長] 動画コンテンツを使うと、実際にイメージは沸くのか。
- [事務局] 筆記具の持ち方を学ぶときに、視覚的な理解につながる。筆圧、用具の使い方、速さ等を指導するときにも役に立つ。
- [委員長] 動画を見たら、子ども達は自分もやってみようと思いが高まると思う。動画には、魅力や引き付ける力があると思う。
- [委員] 光村図書には、左右両利きの動画があるということがすごいなと感じた。
- [委員] 共通の4のイにおいて、東京書籍は発展的な学習内容が明示されていないと書かれているが、評価は○でよいのか。
- [委員長] 総合的に○とイメージできればいいが、この所見で○というのは分かりにくい。
- [事務局] 研究会の中では、発展的な学習についての議論を行った。教育出版は、6年生の教科書で学年を超えた行書の内容が位置付いており、◎とした。光村図書も、6年生の巻末に行書の内容が位置付いている。東京書籍に関しては、行書についての資料が位置付いているものの、中学1年の学習内容であるとの説明は示されていない。各社とも、日常生活に生かす、他領域や他の教科に生かすという点においては、○以上だと判断した。
- [委員] この一文だけでは分かりづらい。「内容とは区別されているが、発展的な学習としての明記がない」という表記ではどうか。
- [委員長] 文言修正をすることで、研究会どおりとし、書写の観点に進む。
- [委員] 左で書くことを認めていることに驚いた。
- [委員] 全体として、何が◎に値するのか、全体として分かりにくい。所見は、どういう風に定義されて、表示されているのか。
- [委員長] 検定教科書は、検定に合格しており、どれも教科書としてきちんとしたものである。その中から、福岡らしさ、福岡が目指す学びに、どれがふさわしいかという観点で選ぶ。どれがいいか悪いかということではない。所見の文言にこだわっているのは、福岡市の教科書として魅力的だということをどう表現していくかが大切だと考えているからである。
- [事務局] どの教科書も、検定を通った優れたものであるというのが、大前提である。それを踏まえた上で、福岡市の子ども達の学びに有益で適切なものを調査研究している。なぜそこが◎か、△になっているか、文章上に十分に表記できていない面もあった。表記をどのようにしていくか事務局の方でも考えていきたい。
- [委員長] 書写の観点については、研究会どおりとする。

○理科

- [委 員] 共通の観点4のウについて、◎の評価になっている大日本図書と東京書籍の所見に違いがあるように見える。大日本図書はかなり具体的に表記されているが、東京書籍について補足の説明があればお願いしたい。
- [事務局] 一人一台端末は、東京書籍の方も使いやすくなっている。研究会では、デジタルコンテンツについて、量や配置を重点的に検討した。東京書籍については、そのことが分かるように記述していきたい。
- [委 員] 理科の評価と所見は分かりやすかった。横に見たときに、ここが特徴的な教科書だということが見えた。
- [委員長] 共通の観点については、研究会どおりとして、理科の観点に進む。
- [委 員] 理科の1と3は、それぞれの記載において、◎と△の区別がされて分かりやすい。
- [委 員] 今回の研究の報告書は、相対的に見たのではなく、絶対的に見たものの積み上げだと考えている。今振り返ると、どの教科もそのようになっていた。理科の観点も、適切に表現されていると思う。
- [委員長] 理科の観点については、研究会どおりとする。

<休 憩>

○生活

- [委員長] 生活科とは、いつから始まった教科か。
- [事務局] 平成4年から。
- [委 員] 記載内容については、わかりやすく書いてあり、特に疑問等はない。
- [委 員] 所見が、教職ではない人にはわかりにくい点があるので、もう少し詳しく書いてもらいたい。
- [委員長] 文言修正をすることで、研究会どおりとし、生活の観点に進む。
- [委 員] 生活様式は、地方によって違うと思うが、生活の教科書は、全国共通なのか。九州版、東北版とかいうものはあるのか。
- [事務局] 基本的に教科書は、全国の児童が活用できるようになっている。地方版というものはなく全国共通である。
- [委 員] 観点に示されている内容から、生活科の学習で子ども達がどのような学習をしているのか、分かった。
- [委員長] 生活の観点については、研究会どおりとする。

○外国語

- [委 員] 2のエについて、所見の文言が4社ほとんど同じだが、最後の部分で違いを表しているのか。例えば、◎の啓林館は「子どもたちの身近な人物や職業で構成されている」というよう

	<p>に表記を整えてはどうか。</p> <p>[事務局] 各社、ヒーローを取り扱う単元はあるが、その中でも車いすテニスプレーヤーを取り上げ、多様性を配慮して作られている点から◎にした。</p> <p>[委員] 1つの単元の中で、トピックを子どもが見られるような動画はあるか。</p> <p>[事務局] 音声は、ほぼすべての教科書で、どの単元にも位置づいている。動画は、最初や途中、最後の部分で取り上げられている。デジタル教科書になると、動画の部分が使いやすくなると予想される。</p> <p>[委員長] 文言修正をすることで、研究会どおりとし、外国語の観点に進む。</p> <p>[委員] 所見の内容にあまり違いが見られないのに、◎と○に評価が分かれている観点がある。特徴の違いをもう少し教えてほしい。</p> <p>[事務局] 単元の初めに、アニメーションや映像資料があり、子ども達のイメージがしやすいを考えて、◎にしている。その特徴を加筆したい。</p> <p>[委員長] 実際は調査した内容が分かりやすくなるように、所見を見直してほしい。文言修正をすることで、外国語の観点を研究会どおりとする。</p> <p>○道徳</p> <p>[委員] 2ウと2エが各社○ということで、それぞれの教科書適切であるという判断で理解した。デジタルコンテンツのところで、少し違いが出てきているようだが、特に気になるところはない。</p> <p>[委員長] 日本文教出版のところで、ワークシートがあった方がいいという理由を教えてください。ほかの教科書にはワークシートはないのか。</p> <p>[事務局] どの教科書にも、二次元コードから見られるところにワークシートはある。道徳科が、教科化されて量的には確保されてきたが、今後すべての福岡市の先生が、子ども達が考え、議論するような授業に導いていくという質的な充実を求めていく時に、授業づくりの手がかりとなるワークシートがあった方がいいという判断した。</p> <p>[委員長] デジタルコンテンツでない紙のワークシートはあるのか。</p> <p>[事務局] 紙のワークシートや、教科書自体の書き込むような工夫はある。日本文教出版と東京書籍は、すべての教材に二次元コードがついている。</p> <p>[委員長] ワークシートが考え議論するのにふさわしいものになっているのか。</p> <p>[事務局] デジタルのよさとしては、教師が書き換えることができるようになっている点が挙げられる。</p>
--	--

	<p>[委員長] デジタルだと、実態に合わせた資料作成がしやすいということだと理解した。</p> <p>[委員] 標記の中に「特に」という文言が使われているにも関わらず○の評価になっているところがある。「特に」は強調する意味として受け取れるので、標記を見直してはどうか。◎と○の違いについて説明してほしい。</p> <p>[事務局] 観点に示された内容は満たしているが、◎まではいかないということだと判断している。</p> <p>[委員長] 文言修正をすることで、研究会どおりとし、道徳の観点に進む。</p> <p>[委員] 道徳で、自己との関わりをしっかりと考えるようにしたいという意図はよくわかった。</p> <p>[委員長] 心情円などのツールについて、有効性について説明してほしい。</p> <p>[事務局] 各社が紹介している思考ツールは、登場人物の気持ちだけを読み解くだけでなく、自分だったらどうするかという考えを可視化するとき使えるようなツールとなっている。</p> <p>[委員長] 道徳の観点については、研究会どおりとする。 以上で、本日の議事を終了とする。</p>
--	--

議 事 録

会議名	令和5年度第5回福岡市教科用図書調査研究委員会
日時	令和5年7月13日(木) 9:30~10:55
開催場所	福岡市教育センター 第201研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p>&lt;学識経験者&gt; 森委員、生田委員、徳永委員</p> <p>&lt;PTA役員&gt; 増田委員、光安委員</p> <p>&lt;校長会&gt; 吉瀬委員、野口委員、大洲委員</p> <p>&lt;指導主事等&gt; 恵良委員、寺澤委員、岡田委員、小野委員、瀧澤委員 古井委員、黒松委員、久永委員、西村委員、田中委員 岡部委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、井上小学校教育課長 篠原小学校教育課主査、衛藤中学校教育課主任指導主事</p>
議 題	○ 調査研究報告書(答申)案の審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 審議</p> <p>(1) 追加審議</p> <p>(2) 審議の進め方・デジタルコンテンツの確認</p> <p>(3) 小学校全教科 調査研究報告書(答申)案</p> <p>(4) 一般図書 調査研究報告書(答申)案 (非公開)</p> <p>3 お礼のことば</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>(1) 追加審議</p> <p>〔事務局〕国語の各教科共通の発展的な学習に関する観点について、横棒の評価が妥当であるか、改めて審議していただきたい。</p> <p>〔委員〕学年を超えた内容を発展として捉えることはもちろん、他教科との関連を図ったり、家庭との連携を図ったりする内容も発展として捉えてもよいと思う。</p> <p>〔委員長〕横棒の評価については、○に変更するというのでよいか。</p> <p>〔委員〕発展的な学習がどのようなものか確認できたので、○に変更して良い。</p> <p>〔委員長〕国語の各教科共通の発展的な学習に関する観点については、○に変更する。</p> <p>(2) 審議の進め方・デジタルコンテンツの確認</p> <p>〔委員長〕審議の進め方確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで4回の調査研究委員会における審議の経過</li> <li>・事務局から、報告書(答申)案について説明</li> <li>・小学校の教科書は公開、一般図書は非公開</li> </ul> <p>〔事務局〕1年生の国語を例に、デジタルコンテンツを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツは、資料と表現物に大別</li> <li>・端末で二次元コードを読み取り、スクリーンに投影して全体で視聴</li> </ul>

[委員長] デジタルコンテンツ、大変良くできている。デジタルコンテンツを使うと、子どもの意欲が高まり、理解しやすくなると思う。

[事務局] 報告書（答申）案の見方を説明

- ・各教科表紙の裏に、委員からいただいた質問や意見を記載
- ・所見文について、変更を加えた箇所は色付きのセルで表示

(3) 小学校全教科 調査研究報告書（答申）案の審議

①国語

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

②書写

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

③社会

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

④地図

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑤算数

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑥理科

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑦生活

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑧音楽

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑨図工

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑩家庭

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑪保健

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑫外国語

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

⑬道徳

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

[委員長] 説明があった答申案について、質問や意見はないか。

[委員長] 特になければ、この答申案を本委員会の答申とすることに賛成の方は挙手をお願いする。

[委員長] 小学校の教科書については、賛成多数で、この答申案を本委員会の正式な答申として確認する。

<休 憩>

(4) 一般図書 調査研究報告書(答申)案の審議

非公開

以上で、すべての審議を終わる。